

男女共同参画セミナー

「いろんな性」LGBTQに

ついて考えてみよう

令和6年1月27日(土)

前橋市総合福祉会館

講師：間々田久渚さん

(一般社団法人ハレルワ代表理事)

■SOGIとLGBTQ

性を構成する要素は、大きく分けて4つあります。性自認(こころの性)、性的指向(好きになる性)、身体的性(からだの性)、性表現です。そのうち、性的指向と性自認の英語の頭文字をとったものがSOGI(ソジ)です。

また、LGBTQとは性的少数者の総称です。性的少数者の中でも代表的なセクシュアリティ、レズビアン(女性同性愛者)／ゲイ(男性同性愛者)／バイセクシュアル(両性愛者)／トランスジェンダー(身体的性と性自認が一致しない人)、クエスチョニング(性的指向や性自認が分からない人、決めていない人)の英語の頭文字から来ています。

LGBTQは性的少数者の人を指す言葉ですが、SOGIはすべての人が持つ属性です。

■LGBTQの人はどれくらいいるの？
日本人の3〜10%がLGBTQだと言われています。

この会場の中にも左利きの方や、血液型がA型の方がいらっしゃると思います。それぞれ、人口の約10%いると言われています。そう考えると、LGBTQの人は身近にいることが分かります。

それなのに、なかなかその存在が見えてこないのはなぜか。それはカミングアウト(自分がLGBTQであること)を打ち明けることができていないからです。なぜカミングアウトできないのか。それは偏見や差別があるからです。

■みんなでできること

LGBTQの人には教育、就労、法律、医療、地域、福祉など、ライフステージの中で様々な困りごとがあります。

LGBTQの人だけでなく、さまざまなマイノリティの人がいます。いろんな人の困りごとに気づき、世の中を良くしていくことはすべての人にとって生きやすい社会を築くことにつながります。



講演の様子(間々田さん)

編集後記

高坂均



今回はネクスト・ジェネレーションを取材しました。社会に参加し、ネットワークを広げようという若者の集まりで、個人的な問題意識が新鮮でした。

将来の夢は現実的で、将来について堅実な考えを持っている方が多いように感じました。

「若者らしさ」というイメージも、時代によって変わっていくものですね。わが身を振り返り、考えさせられる取材でした。

中山洋子



今、ジェンダー・イノベーションという男女の違いを科学的に分析することで社会を変えようということが注目を集めています。社会的性別や生物学的性別の差が考慮されず、製品開発が進んだことで、女性にとって、あるいは男性にとって使いづらい不向きな製品が生まれました。これからは、それぞれに合った製品開発が進むのもっと住みやすい世界になると思います。

石井沙也加



今回は「まちほけ」を利用している方にインタビューをさせていただきました。「まちほけ」がどんな場所で、どんな過ごし方ができるのか。

お話を伺いながら、私も一利用者として初めて訪れたときのことを思い出しました。安心できる居場所があることは心の支えにもなりますね。

葉若葉



今回は男女共同参画セミナーの取材もさせていただき、今までの取材とはまた違った記事づくりができて、良い経験になりました。令和5年から紙面ではなく、WEBで見てもらう形となりましたが、今まで以上に多くの方に見てもらえるように引き続き企画内容の検討や記事づくりに励みます。取材にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

笹澤嘉子



特に女性の様々な分野での参画が進んでいない要因として、仕事と育児のバランスや女性のキャリア形成支援などの意識改革が十分進んでいないのが現実です。いつもと違う環境の中で遊び学び、そして思いきり体を動かし親子や友だちと交流するコミュニケーションの場や情報提供の場が増えることで、ストレスの軽減ができ生活バランスや社会進出が整う環境になって行けばいいと思います。

(記事：葉)

ニュースレター新樹

第40号のご意見・ご感想をお待ちしています。

前橋市共生社会推進課

